

2024 年 7 月 7 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・ 氏名（グループの場合は代表者）：鳥羽 幸信
・ 年齢：
・ コールサイン（局免許保有者の場合）：J O 1 L N K
・ 連絡先 住 所：
メール：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
3. アイディア名： アマチュア無線コンプライアンス通報窓口の設置

4. アイディアの概要（200 字以内）：
女性局に対して住所を聞き出そうとしたり、新人局に対して無線の上でダラダラと説教を続けたりと残念な報告が時々SNS を駆け巡ります。これまで個人の良識に任されていた領域ですが、現代的な感覚からすればこれは間違いなくセクハラ、パワハラ事案です。一般社会であれば懲戒対象です。アマチュア無線界にあってもこの手の通報を受け付ける窓口を設置し、一般社会並みのコンプライアンスを維持する時期が来ていると考えます。

5. 詳細説明（図表を含めて4 頁以内）：

後述する通り、「アマチュア無線の魅力向上」には、次の3 軸での改善が必要と考えています。

- ① アマチュア無線のモダナイゼーション
- ② アマチュア無線のソーシャライゼーション
- ③ アマチュア無線のコンプライアンス

このうち「③ アマチュア無線のコンプライアンス」の具体例として「アマチュア無線コンプライアンス通報窓口の設置」を提唱するものです。

非常に残念ながら愛好者が高齢者に偏るアマチュア無線では、昔の常識を現代まで引きずっている方が少なからずいらっしゃると感じています。それを正しましょうというのが「① アマチュア無線のモダナイゼーション」になるわけですが、「正していきましょう」といかに啓蒙活動を実施しても響かない層はいると思います。

そのような方々にはアマチュア無線業界として教育的な対応を取る必要があると考

えています。そのような事案を募集し、きちんと教育さしあげること、それがアマチュア無線コンプライアンス通報窓口を活用した活動です。

趣味の世界においては、セクハラ、パワハラ的な態度に対しての法的な対応は難しいでしょう。この通報窓口は問題の本人に対して第三者として態度を改めるように諫める仕組みになると思いますが、何度も同じことが繰り返されるようであれば、問題局として一般公開もプログラムの必要です。

そしてこのような対応を誰が行うかといえば、JARL になると考えます。行政機関には対応できない改善勧告を公的に行えるのは JARL だけです。

実際の現実に向けては色々と検討が必要なことは良くわかります。ただ、そのような通報窓口の設置まで検討しているということをアマチュア無線業界として公言すること自体が、このアマチュア無線のコンプライアンス実現に向けてはプラスになるでしょう。

さて、冒頭でお話した改善の3軸についても簡単に説明させていただきます。まずは、次ページの表の通り、何点かの観点について私の開局時と現在の比較を実施してみました。見ていただくとわかるように、既に昔の常識は今の常識ではありません。価値観は人それぞれです。

これに合わせアマチュア無線界の考え方を現代風に変えることが ①アマチュア無線のモダナイゼーション です。決して昔の常識を否定するものではなく、多様性を許容することで、一般社会からの置き去り感を無くすることが目的です。

その上で、社会でのアマチュア無線の認知度を上げる必要があります。既にアマチュア無線という言葉すら知らない世代が大人になりつつあります。これを改善するのが ②アマチュア無線のソーシャライゼーション です。社会とのかかわりを持つためにアマチュア無線で社会貢献を行うことを意味しています。米国では、災害時のネットワーク構築の AREDN があったり、マラソン大会の運営をアマチュア無線家がサポートしたりしていると聞きます。一般社会生活との接点を持つことで、普段の生活でアマチュア無線を見る機会を作ることが重要です。

そして、ニューカマーが安心してアマチュア無線を継続するために必要なのが、一般社会なみの ③アマチュア無線のコンプライアンス です。交信時の高齢者による若者へのパワハラ、セクハラのような問題が時々SNS をにぎわせています。これはアマチュア無線界として徹底的に止める必要があります。

以上、3軸での施策をそれぞれご提案させていただきます。発表の機会をいただければ、もう少し詳細にお話ししたいと考えています。

表1 アマチュア無線の価値観の比較

観点	昔（40年前）	今	備考	モダナイゼーション	ソーシャライゼーション	コンプライアンス
ライセンス	第1級アマチュア無線技士が一番偉い	無資格でライセンスフリー無線を楽しむ人も多い	決してアマチュア無線がライセンスフリー無線よりも高尚とは思われていない	○		
送信出力	QRO	QRPで楽しむ人も増加	特定小電力トランシーバーでの遠距離交信	○		
QSLカード	JARL経由で紙カードを交換が一般的	紙カードの他、eQSLやLoTW等の電子的な形態も増加。 QSLカードには興味の無い層も一定数		○		
アンテナ	高いタワーに八木アンテナが憧れ	大きなアンテナを建てられる人は減少（景観条例や近所の目）	米国ではステルスアンテナも普及	○		
運用場所	固定やモバイル	固定でもモバイルでもない移動運用が増加	SOTAやPOTAが人気に	○		
無線機	大型機が憧れ	ハンディだけの開局も普通	自作機の偉大さは既に伝わらない	○		
モード	FMやSSB、CW	FT8等のデジタルの台頭	AMはむしろノスタルジーとして普及	○		
世の中のイメージ	King of Hobby	盗聴？ 携帯電話があるのに・・・	「何が面白いの？」 定番の質問	○	○	
若い人の情報源	雑誌（CQ誌、ラジオの製作、初歩のラジオ）	YouTube、SNS	ももチャンネルを見てライセンスフリーを始めた人は多い	○	○	
日本の人口	第二次ベビーブーム	過去最低出生率	人口は減少中	○	○	
働き方	24時間、戦えますか？	コンプライアンス重視	パワハラ、セクハラは許さない風潮重要	○		○
企業の考え	年功序列	DEI、SDGs	多様性重視、否定しない	○	○	○
ボランティア	少数	一般的		○	○	
プライバシー	住所録作成が一般的	交信時の本名公開も抵抗ある層あり		○		○
ジャンク	宝の山	ゴミの山と見る層も増加	何かきれいなイメージを作る必要あり	○		○